

第一、東インドに對する將來獨立許與の言明

小磯首相が第八十五臨時議會に於て東インドに對し將來獨立を許與する旨言明したことは道義日本の誠實を眞意を明確化したものとして比島民間に大きな感銘を與へたが、ラウレル大統領は八日談話を發表、是こそ大東亞宣言の具體的顯現であり道義日本にして始めて爲し得るところであると絶讃し、東亞十億民族が眞に解放せらるる爲には日本の戦争完遂に全力を擧げて積極的協力を行ふべきであると一般に要望するところがあつた。

(一) ラウレル大統領談

第八十五臨時議會で小磯首相が東インドに對する獨立許與の確約を與へたことは大東亞宣言の誠實なる具體化であり、全亞細亞民族の解放を念願とする指導國家日本の眞摯な決意の顯現である。

此の歴史的な言明の裡に米國の極權から解放され今や自由を享受しつゝある比島民族は自己の獨立に對するいま一つの保障を讀み取ることが出来る、我々比島人は此の嚴然たる事實を通じ、大東亞戰爭完遂の爲總力を擧げて戰爭協力に邁進すべく新たな覺悟を
持たねばならぬ。

(二) ジャワ中央參議員長スカルノ氏感謝の辭

(ジャカルタ八日發同盟)

輝く獨立認容の朗報に接した中央參議員長スカルノ氏は七日午前ジャカルタ放送局のマイクを通じて左の如き感謝の辭を行つた。

「本日私達四千万インドネシヤ民族は大日本帝國が東インド民族永遠の福祉を確保する爲に將來獨立することを認容すると云ふ小機首相の議會演説を得た、此の報を得て先づ第一に感じたことは

天皇陛下の宏大無邊の大御心に對し奉り恐懼おくとこ
ろを知らざる感激であつて、聖慮に依つて私達は益々大東亜の家
族の一員であるとの認識を深めた次第である。

數日前私はインドネシヤ民族としての挨拶を日本に送つたのであ
るが、その時私は「私達は今次戦争に於て日本に協力する所以の
ものは日本が道義に基いてゐるからである」と云つた。私達は數
世紀に亘り民族としての獨立を念願して來たこの理想こそ私達が
久しきに亘つて背後に米英の後楯を恃んだオランダ帝國主義に抗
して闘ひ來つた根本理念である。

されば大日本帝國が東インドに對する將來の獨立を認容されたこの
時に當つて私達は愈々大日本と飽くまで同生共死、最後の勝利獲
得に邁進する覺悟を固めたのである。インドネシヤは飽くまで戦
ひ抜かうとする用意を持つて居り、最後の決戦の犠牲を捧げん
とする用意を持つてゐる。